

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	濃縮アルカリ洗浄液
製品コード	M-9B04
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422

推奨用途及び使用上の制限 洗浄液

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日 H25.8.22、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用

	GHS改訂4版を使用	
物理化学的危険性	火薬類	分類できない
	引火性・可燃性ガス	分類対象外
	引火性エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス類	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性物質	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)		分類できない
急性毒性(吸入:ガス)		分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)		分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)		分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)		分類できない
皮膚腐食・刺激性		区分1
眼に対する重篤な損傷性・刺激性		区分1
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		区分外
生殖細胞変異原性		区分外

	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(呼吸器)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性 分類実施日	急性毒性:H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用	
	慢性毒性:H18.3.31、GHS分類マニュアル(H18.2.10)を使用	
	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(長期間)	区分外

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器の障害のおそれ

注意書き 安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管	施錠して保管すること。
廃棄	希酸で中和後、大量の水とともに流す。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
他の危険有害性 国・地域情報	特になし 知見なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

組成・成分

濃縮アルカリ洗浄液
危険有害成分、水酸化ナトリウム 4.0%
カルボキシル化ポリオキシエチレンアルキルエーテル (7E. O.) 1.0%

化学名又は一般名 別名

水酸化ナトリウム
苛性ソーダ (Caustic soda)、ソーダライ (Soda lye)、
(Sodium hydrate)

濃度又は濃度範囲 分子式 (分子量) 化学特性 (示性式又は構造式)

4.0%
NaOH (40.00)
Na — OH

CAS番号 官報公示整理番号 (化審法) 官報公示整理番号 (安衛法) 分類に寄与する不純物及び 安定化添加物

1310-73-2
(1)-410
公表化学物質 (化審法番号を準用)
データなし

化学名又は一般名 別名

カルボキシル化ポリオキシエチレンアルキルエーテル (7

濃度又は濃度範囲 分子式 (分子量) 化学特性 (示性式又は構造式)

1.0%
(C₂H₄O)_nC₁₅H₃₀O₃

CAS番号 官報公示整理番号 (化審法) 官報公示整理番号 (安衛法) 分類に寄与する不純物及び 安定化添加物

56388-96-6
(2)-3573
公表化学物質 (化審法番号を準用)
データなし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入

腐食性。灼熱感、咽頭痛、咳、息苦しさ、息切れ。症状は遅れて現われることがある。

皮膚

腐食性。発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱。

眼

腐食性。発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。

経口摂取

腐食性。灼熱感、腹痛、ショック/虚脱。

最も重要な兆候及び症状

肺水腫の症状は 2～3 時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。

**応急措置をする者の保護
医師に対する特別な注意事項**

データなし

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂

**使ってはならない消火剤
特有の危険有害性**

高圧棒状放水
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材
回収・中和**

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
希酸で中和後、大量の水とともに流す。

二次災害防止策 汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置し、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。

安全取扱い注意事項 作業場の換気を十分行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避 燃烧、強酸化剤や強酸との接触を避ける。
吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
口によるピペッティングはしないこと。

衛生対策 特になし

保管 安全な保管条件 技術的対策 特別に技術的対策は必要としない。

保管条件 容器を密閉して保管すること。
施錠して保管すること。
酸から離しておくこと。
酸化剤から離して保管する。

安全な容器包装材料 ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2014年度版) NaOH 2mg/m³(最大許容濃度)

ACGIH(2014年版) NaOH STEL(C) 2mg/m³

設備対策 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具 呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
通常の取り扱いでは特に必要ない
不浸透性保護手袋
保護眼鏡、側板付き保護眼鏡
長袖作業衣

衛生対策

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状
色
臭い
臭いのしきい(閾)値
pH
融点・凝固点
沸点、初留点及び沸騰範囲
引火点
蒸発速度(酢酸ブチル=1)
燃焼性(固体、気体)
燃焼又は爆発範囲
蒸気圧
蒸気密度
比重(相対密度)
溶解度
n-オクタノール/水分配係数
自然発火温度
分解温度
粘度(粘性率)
粉じん爆発下限濃度
最小発火エネルギー
体積抵抗率(導電率)

溶液品
無色～微黄色
わずかな特異臭
データなし
強アルカリ性
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性

データなし
法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
空気から二酸化炭素を吸収する。

危険有害反応可能性

強塩基であり、酸と激しく反応し、熱を発生する。亜鉛、アンモニウム、スズ、鉛などの金属に対して腐食性を示し、引火性/爆発性気体(水素)を発生する。アンモニウム塩と反応してアンモニアを生成し、火災の危険をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。

避けるべき条件

日光、熱。強酸化剤、強酸、アンモニウム塩、金属類との接触。

混触危険物質
危険有害な分解生成物

強酸化剤、強酸、アンモニウム塩、金属類。
ナトリウム酸化物、水素

11. 有害性情報

急性毒性 経口

分類できない: CAS番号: 1310-73-2 (含有率=4% 出典: NITE)

既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分外に該当。

毒性が未知の成分を4%含有。
毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。

経皮

分類できない: CAS番号: 1310-73-2 (含有率=4% 出典: NITE)

既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分外に該当。

毒性が未知の成分を4%含有。
毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。

吸入: ガス

分類対象外: CAS番号: 1310-73-2 (含有率=4% 出典: NITE)

GHS定義による気体ではない。

吸入: 蒸気

分類できない: CAS番号: 1310-73-2 (含有率=4% 出典: NITE)

既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分外に該当。

毒性が未知の成分を4%含有。
毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。

吸入: 粉じん及びミスト

分類できない: CAS番号: 1310-73-2 (含有率=4% 出典: NITE)

既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分外に該当。

毒性が未知の成分を4%含有。
毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。

皮膚腐食性及び刺激性

区分1: CAS番号: 1310-73-2 (含有率=4% pH: 12.00)

加成方式が適用できない成分からの判定:
CAS番号: 1310-73-2 が4% \geq 1%のため、区分1に該当。

危険有害性情報: H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	<p>区分1: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% pH:12.00)</p> <p>加成方式が適用できない成分からの判定: CAS番号:1310-73-2が4%\geq1%のため、区分1に該当。</p> <p>危険有害性情報:H318 重篤な眼の損傷</p>
呼吸器感作性	<p>分類できない: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。</p> <p>毒性が未知の成分を4%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。</p>
皮膚感作性	<p>区分外: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。</p>
生殖細胞変異原性	<p>区分外: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。</p>
発がん性	<p>分類できない: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。</p> <p>毒性が未知の成分を4%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。</p>
生殖毒性	<p>分類できない: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。</p> <p>毒性が未知の成分を4%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分外から分類できないに変更。</p>
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	<p>区分1: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 臓器=呼吸器 出典:NITE)</p> <p>CAS番号:1310-73-2が4%\geq1%のため、区分2(呼吸器)に該当。</p> <p>危険有害性情報:H371 呼吸器の障害のおそれ</p>

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

分類できない: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

毒性が未知の成分を4%含有。
毒性未知成分が1%以上なので、区分外から分類できないに変更。

吸引力呼吸器有害性

動粘性率:不明

分類できない: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)

動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性(急性)

区分3: CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=40.00000000mg/l 毒性値(藻類)=なし 出典:NITE)

方式1:

加算式

甲殻類: $4 / ((4\% / 40.00000000\text{mg/l}))$

計算結果=計算値:40mg/l、分類区分:区分3

加算法

甲殻類:(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が4%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当。

方式2:

加算式

$4 / ((4\% / 40.00000000\text{mg/l}))$

計算結果=計算値:40mg/l、分類区分:区分3

加算法

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が4%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当。

方式3:

加算法

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が4%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当。

方式1=区分外、方式2=区分外、方式3=区分外より区分外に該当。

水生環境有害性(長期間)

区分外:CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明 出典:NITE)

方式3:

加算法

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当。

方式1=データなし、方式2=データなし、方式3=区分外より区分外に該当。

オゾン層への有害性

分類できない:CAS番号:1310-73-2(含有率=4% 出典:NITE)

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

水に溶解し希酸で中和後大量の水とともに流す。廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

国際規制

国連番号	UN1824
国連品名	水酸化ナトリウム溶液
国連危険有害性クラス	8
副次危険	
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当

国内規制 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 規制なし

特別安全対策 運搬に際しては容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号 154

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法	水酸化ナトリウム 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No.319
化審法 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当 カルボキシル化ポリオキシエチレンアルキルエーテル(7 E. O.): 第一種指定化学物質407号 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル
消防法 大気汚染防止法 海洋汚染防止法	非該当 非該当 水酸化ナトリウム 施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質
航空法	水酸化ナトリウム 腐食性物質分類8 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
船舶安全法	水酸化ナトリウム 腐食性物質分類8 (危規則第3条危険物告示別表第1)
港則法 道路法 水質汚濁防止法	非該当 非該当 水酸化ナトリウム 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

16. その他の情報

参考文献 各データ毎に記載した。

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。
記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。